

テーマ
アカデミックライティングスキルに関する自分だけの手引きを作ろう
目標
<p>学習者レベル（学部留学生 N2～N1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学のレポートや論文のための、アカデミックライティングスキルを身につける 今後、レポート作成の際に参照できるアカデミックライティングスキルに関する手引きを作成する（Office365 の Class Notebook を利用して） 自分のレポートを、ループリックを参照しながら改善できる 他の学生のレポートに関して、ループリックを参照しながらアドバイスができる アカデミックライティングスキルの習得過程を客観的に見ることで、新しいスキルを身につける方法を意識的に考えられる
コミュニケーション能力指標
<p>人とのつきあい 4-e 地域社会と世界 4-a, b, c, d e ことば 4-j</p>
学習シナリオ
<p><場面状況> 学部留学生 1 年生のためのアカデミックライティングクラス</p> <p><活動の流れ></p> <p>『大学・大学院 留学生の日本語④論文作成編』に沿って、レポートや論文を書く際に必要とされるライティングスキルを学ぶ。</p> <p>段落の構成、効果的な表現、同意と反論の示し方、引用の仕方などを知る。</p> <p>レポート課題のテーマを決定する。</p> <p>ライティングスキルを学びつつ、テーマに関する参考文献等を読み、各自レポートを書き進めていく。</p> <p><レポート完成へのステップ></p> <p>序論の構成について学ぶ→自分のレポートの序論部分を書く</p> <p>レポート完成後、ループリックを参照して自己評価・他己評価→書き直し</p> <p>上記のステップでの書き直し前と後のレポートを残し、何を学んだのか、レポートのどこが改善されたのかを客観的に見る時間を取り、改善メモを残す。</p> <p>最終的に授業ログと改善メモをまとめることで、今後レポート課題の際に参照できるような自分なりの手引きを完成させる。</p>
総括的評価
<p>レポートライティングの手引き</p> <p>レポート</p>

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	レポートや論文などに必要とされる語彙、表現、作法などを知る		Class Notebook の使い方を知る
できる	レポートや論文などに必要とされる語彙、表現、作法などを用いてレポートが書ける		Class Notebook を使い、自分のレポートの プログレスを見ることができる ルーブリックを参照することで、自分の／ また他の学生のレポートの改善点を見つける ことができる
つながる	他の学生に対して、レポート改善のアドバイスができる	異なる文化背景や、異なるレベルの学生に対して、適切なアドバイスを行う	Class Notebook を使い、他の学生の課題や 発表に対してコメントやアドバイスをする
三連携	連携1：授業の振り返り、レポートの修正・改善を行うことで、セルフリフレクションを行う 連携2：ライティングスキルの手引きを作ることで、他科目のレポートライティングに活かす 連携3：		

目標分解表

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
レポート提出までのスケジュールを立てる	レポート提出の期日に合わせて、調査や執筆に必要な時間を把握し、スケジュールを立てることができる	レポート作成のスキルを用いてレポートを作成することができる	授業ログの記録やレポート作成の過程を通して、レポート作成のスキルを手引きにまとめ、振り返り、修正、改善ができるようになる
[形成的評価] レポート作成スケジュール			
レポートテーマに関して、自分の意見やその理由をクラスメートと意見交換する	レポートのテーマを決定し、論点となる問いを立てることができる		
レポートのアウトラインを作成する	自分が必要とするテーマについて書かれた論文や著書を検索し、入手することができる		
論文や著書をインターネットを用いて検索する			
インターネットや図書館にて論文や著書を入手する	自分のレポートの論点を支持している情報を、論文や著書から見つけることができる		
自分のレポートの論点と、論文や著書と照らし合わせ、合致しているかどうか判断する			
論文や著書を読み、メモを取る	レポート執筆に必要な日本語表現や構成をふまえて、第一稿を書くことができる		
レポートの基本的な構成、段落の構成を知る			
レポートに適した文体、語彙・表現を用いて文を書く練習をする			
[形成的評価] 文体、語彙の練習課題			
第一稿を書く	レポートの評価項目を理解して、サンプルレポートを採点することができる	レポートを読み返し、修正、改善することができる	
[形成的評価] 第一稿			
授業で学んできた序論、本論、結論のそれぞれに必要なスキルを振り返りながら、ループリックを読む			
サンプルレポートをループリックを用いて実際に採点することで、求められている点を知る	(自分や他の学生が書いた) レポートを読み、改善点・不足点を見つけ、指摘することができる		
[形成的評価] サンプルレポートの採点			
自分でレポートを読み返し、ループリックに照らし合わせて改善点・不足点を見つけ、第二稿を書く			

[形成的評価] 第二稿			
他学生のレポートを読み、ループリックに照らし合わせてよくできている点、また改善点・不足点を相手に伝える	レポートの改善点・不足点を相手に分かりやすく説明できる		
[総括的評価]レポート最終稿			
レポートの構成（序論、本論、結論）を知り、それぞれにどのようなスキルが求められているかを教科書を用いて学ぶ	レポート作成のスキルについて、理解したことと疑問が残ったことを整理することができる	レポート作成において求められているポイントを知り、それを手引きにまとめることができる	
毎回授業後に、授業ログをつけ（知っていたこと、初めて知ったこと・より深く理解できたこと、まだ疑問に思っていること）、自分が何を学んだのか振り返る			
[形成的評価] 授業ログを Class Notebook に記録する			
レポートの第一稿と第二稿をループリックに照らし合わせる	レポート作成スキルに関して、理解していて正しく使えるもの、理解はしているが使用に際して注意が必要なもの、まだクリアになっていないものが自覚して、列挙することができる		
レポートの第一稿と第二稿を比較し、改善した点を記録する			
[形成的評価] 第二稿の改善点に関するメモを Class Notebook に残す			
クラスメートと第二稿を読んで、ループリックに印をつける。直接メモを書いて、渡す			
最終稿を書きながら、または書き終えてから、レポート作成時に、問題なく使えていたスキル、ループリックに照らし合わせて改善点に気づいたスキル、他からのアドバイスによって改善点に気づいたスキルを認識し、それらを記録する			
[形成的評価] 最終稿の改善点、またすでにできていた点を Class Notebook に残す	レポート作成スキルを手引きとしてまとめることができる		
最終稿の改善点・できていた点、第二稿の改善メモ、授業ログを読み返し、レポート作成に必要なとされるスキルをまとめる。できていた点は簡単に、改善が必要だった点に関しては教科書を読み返して詳しく記す			
[総括的評価]レポートライティングの手引きを Class Notebook にまとめる			

論証型レポート ルーブリック

チェック項目

- レポートの内容がよく分かるタイトルになっている
- 問題の背景を提示している
- 論点を質問の形で示している
- 段落の形式が正しい
- 序論・本論・結論という構成になっている
- 適切な接続表現を使って、段落内も段落間も上手く連結できている
- 引用の形式が正しい
- なぜその引用をしたのか、引用の必要性が示されている
- 参考文献が正しい形式で示されている
- だ・である体で統一されている
- 文法の間違いがない
- 誤字・脱字がない
- 文法の間違いがない

	評価基準	3	2	1
序論	論点	資料をよく読んだ上で、具体的な論点を示している	具体的な論点を示しているが、資料の検討が十分ではない	論点が具体的でない
	目的	明確に目的を述べている	目的を述べているが、根拠の説得力が弱い	目的がはっきりしない
本論	情報検索	信頼できる資料を多数調べ、多様な見解を示している	適切に調べているが、資料が少ない	情報検索がインターネットだけで資料が不十分
	主張の裏付け	信頼できる証拠をもとに、自分の意見を明確に主張している	自分の意見を主張しているが、裏付けが弱い	証拠資料が不十分で、主張があいまいである
結論	結論	目的を要約し、結論に至るまでを明確にまとめている	簡略的であるが、目的を説明して、結論を述べている	結論だけで、目的などの説明がない